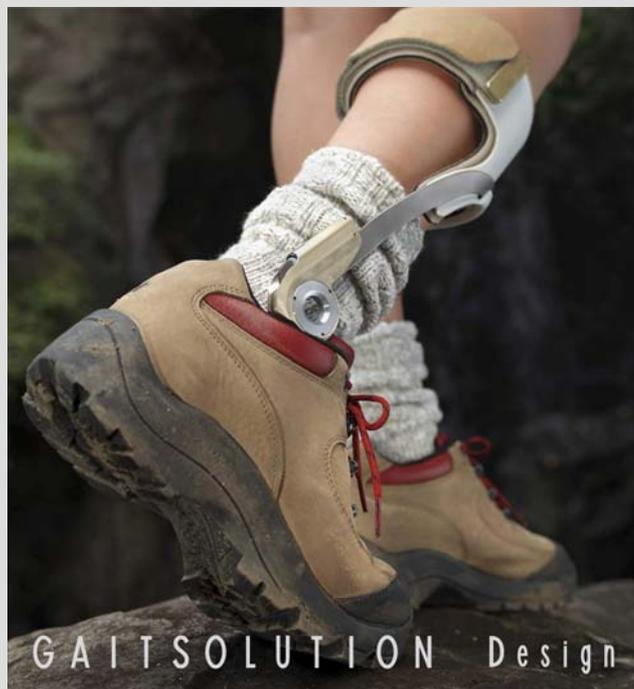


ポジティブスパイラルで変えていこう

---

株式会社 GKダイナミックス 三富 貴峰



短下肢装具（可動タイプ）  
川村義肢「ゲイトソリューション デザイン」

## 目立たないけど頼りになるパートナー

細くしなやかに、頼れるチタンフレーム  
装着部の柔らかく、やさしいデザイン  
目立たないけど頼りになる美しいデザインで、  
歩くことを楽しくします。



←  
デザイン導入



# より良いクリエイションは ポジティブな発想で

△△しないこと、ではなく〇〇することを考える

安全のためには

**ミスしにくくする**

**緊張感と、仕事に対するモチベーション**

緊張感と、モチベーションの向上のために、

クオリティあるプロの仕事を

# 「見せる、見られる」という視点の提案

## コミュニケーションの向上

- ・ 見せるもコミュニケーションであり、安心感をあたえます

## 効率の向上

- ・ 見られる緊張感は効率を向上させる

# カッコよく働くところを 「見せる」 看護の現場

## プロフェッショナルをみせる装置

- ・ プロの信頼感
- ・ てきぱき美しい動きのデザイン

## 緊張感あるONは リラックスできるOFFがあるから

- ・ ONとOFFのメリハリ

●患者の視点

・診察

・病室

・食事

・リハビリ

・入浴  
・外出など

●看護（スタッフ）の視点

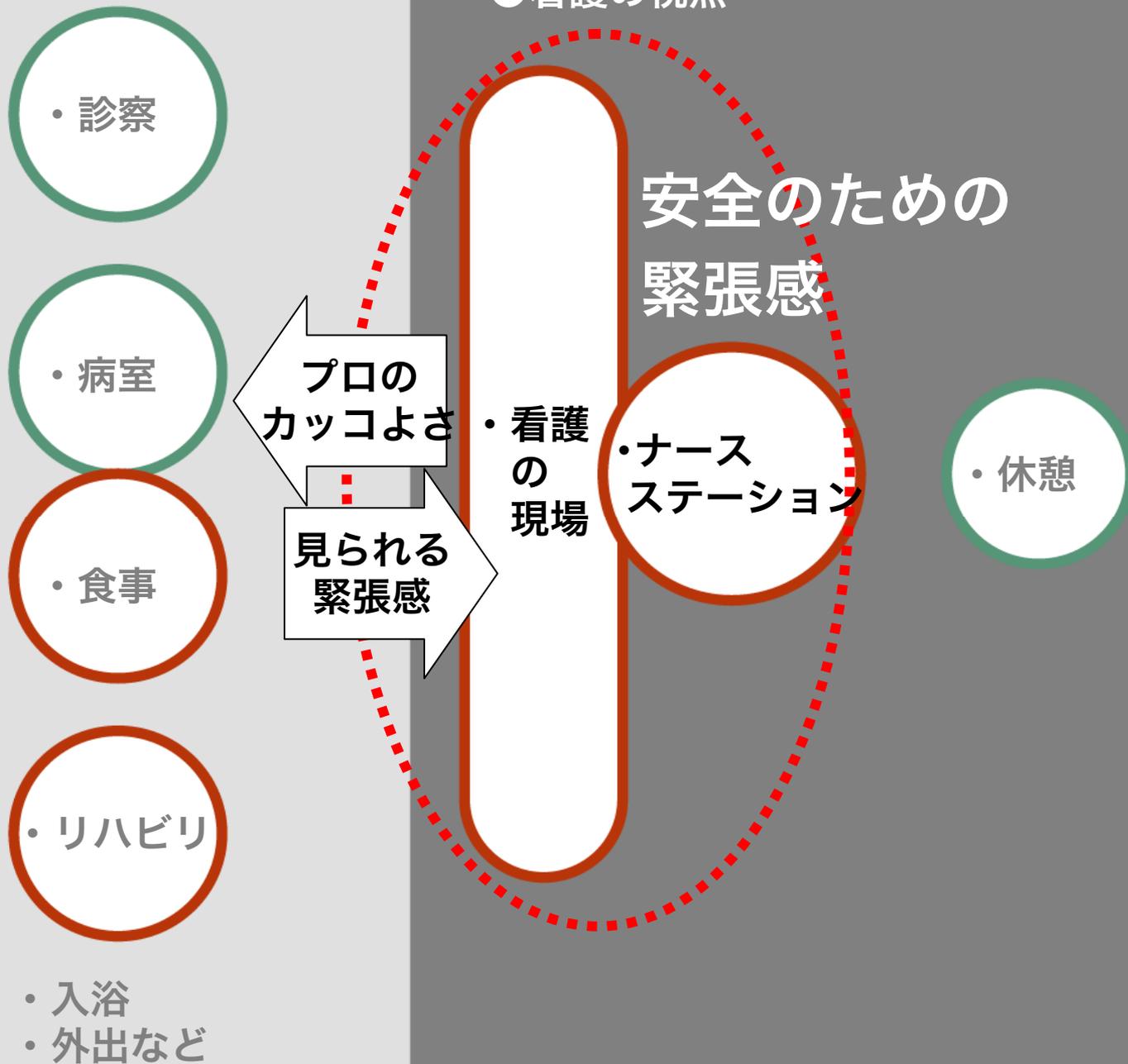
・看護の現場

・ナースステーション

・休憩

●患者の視点

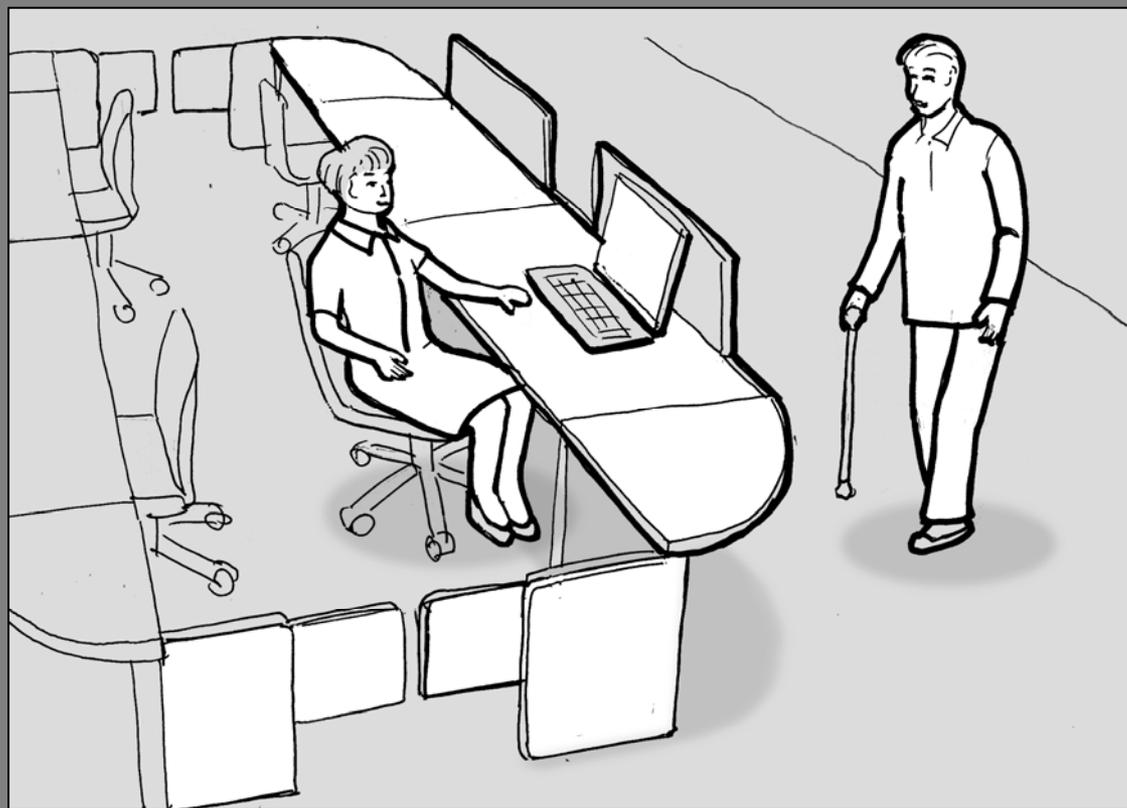
●看護の視点



例えば、ナースステーション

## ■コミュニケーションのためのオープンなオフィス空間

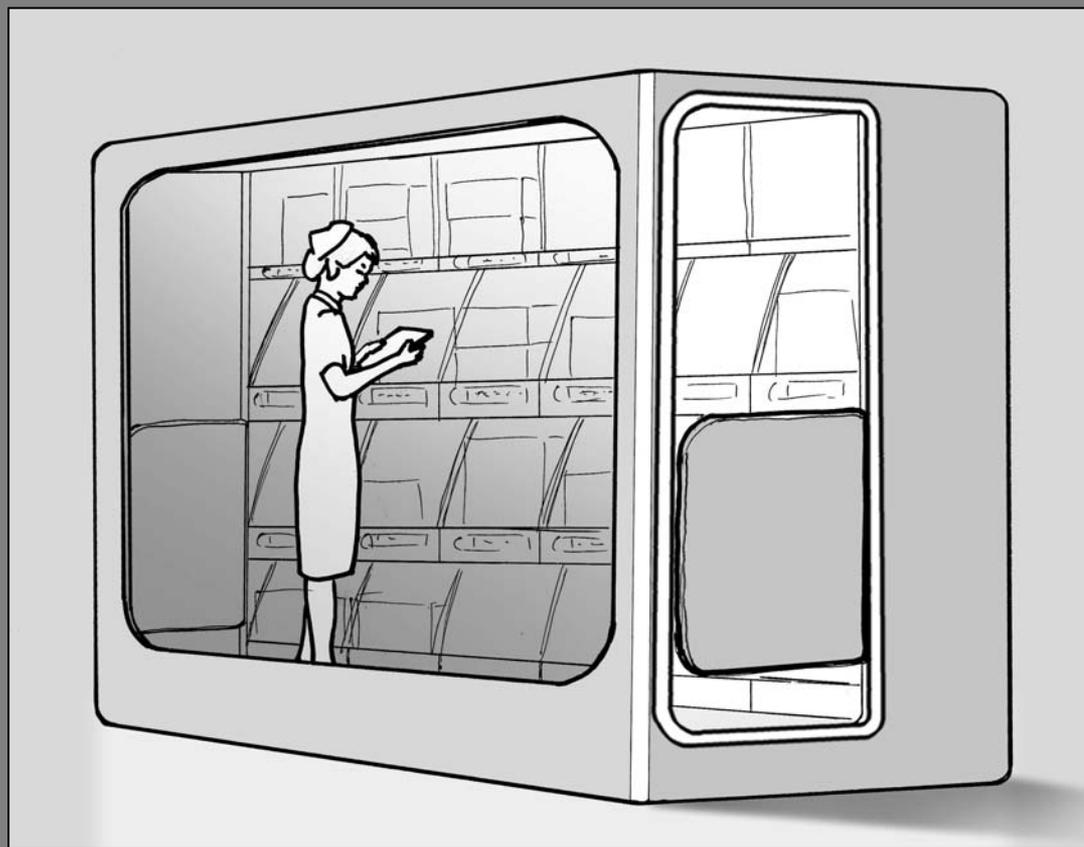
- ・ 顔を見せ、情報は見せないレイアウト
- ・ 同じ空間の安心感、つねに見られる緊張感



例えば、ナースステーション

## ■ガラス越しに見せる、クローズドなストック&作業エリア

- ・ガラス窓の箱でセキュリティを追求
- ・作業を見れる安心感、みられる緊張感 →ミスを防ぐ



●患者の視点

・診察

・病室

・食事

・リハビリ

・入浴  
・外出など

●看護の視点

・看護の現場

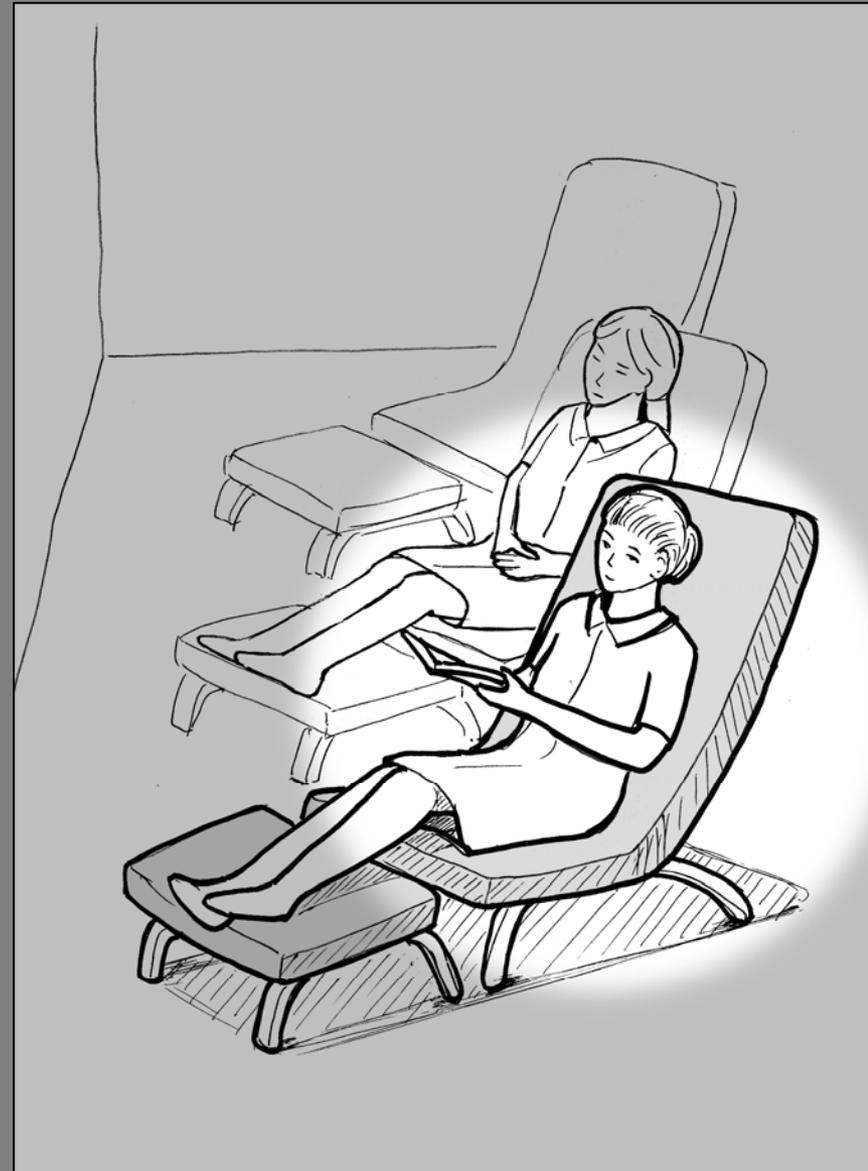
・ナース  
ステーション

・休憩

メリハリのための  
リラックス  
OFFのための機能

## ■リラックスのための機能の追求

- ・ 日常を感じられる安心感
- ・ 自分の空間の確保



●患者の視点

・診察

・病室

・食事

・リハビリ

・入浴  
・外出など

●看護の視点

・看護  
の  
現場

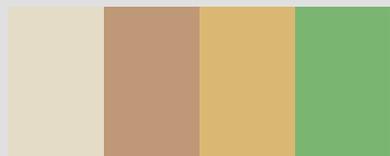
・ナース  
ステーション

・休憩

## ●患者の視点

リラックス  
できる  
デザイン

ナチュラルカラー  
低コントラスト  
木などの素材感



清潔感を重視した色彩は看護側の発想  
患者が「自分が不潔」と感じやすく、  
緊張感につながります

必要なのは日常感からくるリラックス



医療機器に必要なのは

- ・ 機能の解りやすさ
- ・ プロの信頼感

×やさしい形だけではデザインの効果はない

・ 看護  
の  
現場

・ ナース  
ステーション

・ 休憩

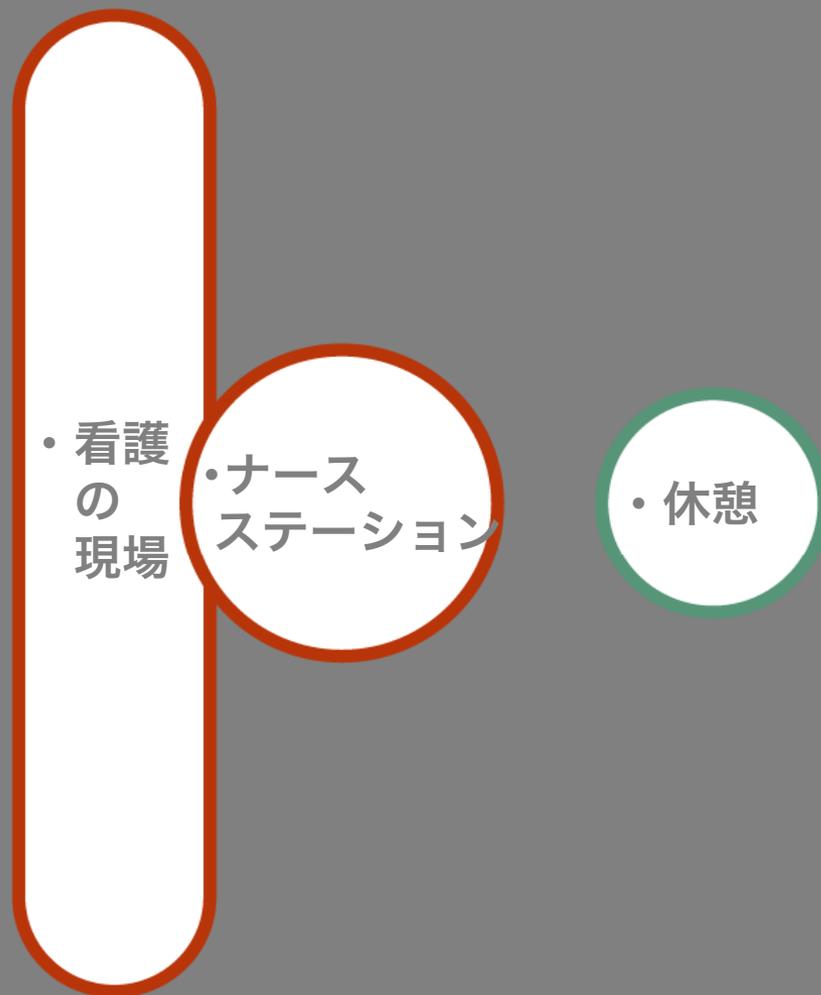
## ●患者の視点

# 活動したくなる デザイン

食べたくなる  
明るい雰囲気を  
病室に加える



- ・入浴
- ・外出など



## ●患者の視点

# 活動したくなる デザイン

リハビリでも、デザインは重要  
運動したくなるデザインを導入すれば  
効果が向上する

スポーツの機能性を  
みせるデザイン  
元気になる色彩



- ・入浴
- ・外出など

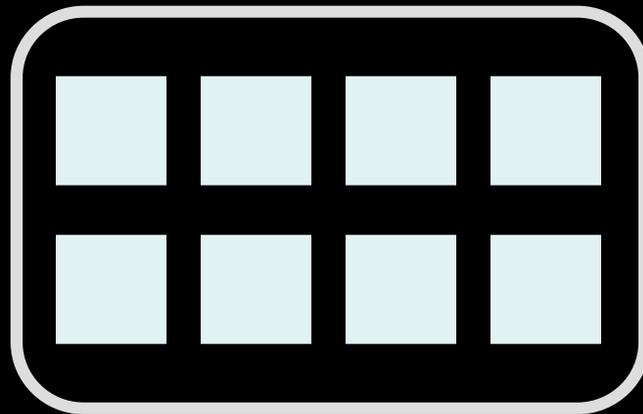
・看護  
の  
現場

・ナース  
ステーション

・休憩

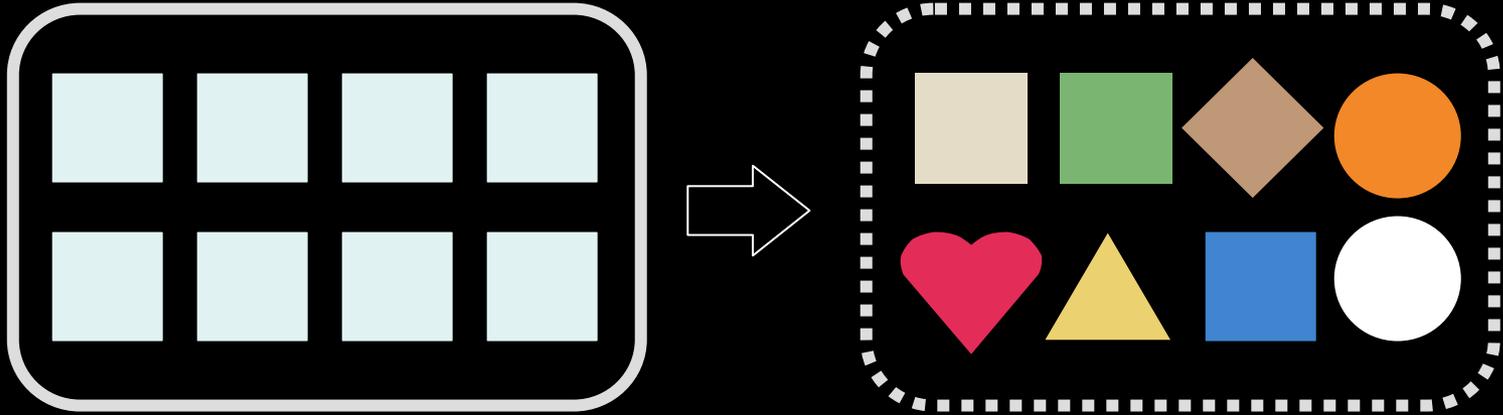
総合病院は ひとつの街のように様々な機能の 集合体です

統一されたデザインは美しいが、機能の違うものを同じにしてはいけない  
統一すべきはサインやデザイン表現のルールであり、形や色ではない

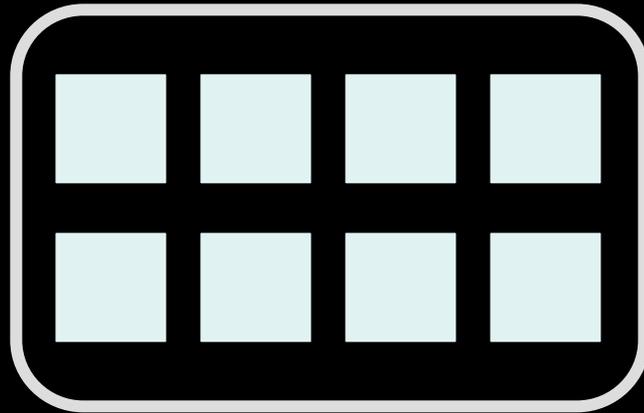


## 各エリアごとに機能を活かすデザイン

機能の明快化は、効率と安全を向上させる



病院は、病を治すところ → もっとポジティブに考えよう



# 病院は、人を幸せにするところ

みんなが幸せになるための空間・装置に していこう

